

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 4名

回収数 4

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0	・ちゃんとかえでの家の部屋があるので楽しく活動できています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	1	・適切な人数がわからない。	・定員10名に対して、児童指導員等を2名以上配置するよう定められています。職員同士で連携をとりながら、安心して子どもたちが生活することができるようにします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0	・分かりやすくなっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0	・いろんな療育をしてくれるので子供もたのしんでいる。	・計画に基づきながら、お子さん一人ひとりの姿に合わせて支援内容を工夫しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0	・子どもができなかったこと、諦めていたことに挑戦したり成長がみられているので合っていると思います。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0	・個別計画を作ってくれて親も分かりやすい。	・保護者の思いに加え、年齢に応じて子ども自身の気持ちも聞き取り、反映しながら支援計画を作成します。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0	・面談があり、説明を受けました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0	・面談があり、説明を受けました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	0	0	0	・連絡帳にしっかり書いてくれています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0	・面談があり、アドバイスをもらいました。悩んでいることも聞いてくれました。 ・個別懇談もあるので助かっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	2		
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	・連絡帳や口頭で聞けています。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	1			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0	・怪我の理由、状況の説明は大丈夫です。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0	・楽しくいつている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	・今日のかえでの日と本人が言います。楽しみ～と言っています。	・こどもたち一人ひとりが事業所で過ごす時間を少しでも楽しく感じられるように、工夫しながら運営していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	・毎週楽しくいつている。	・いつも事業所の運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。保護者の方々に支えられて、日々の支援を行うことができます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家		公表日 令和7年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・室内にある階段をフラットにすることで怪我や危険行為の防止に繋がる。 ・現時点では必要ないが、バリアフリーの面で改善が必要か。入り口箇所に段差あり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・特にこどもたちや保護者の目線の高さの物の管理に気をつけている（物が多い印象や雑然とした印象を与えない、季節のものの配置など）	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の部屋はないが、机を1人1台使うことで個別化が可能。ただ、児発利用児には少し高すぎるため配慮が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・児発対応職員と児発管とのやりとりで終始してしまうことが多いため、他職員とも共有していくことが必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	・児発は今回が初めての実施	評価内容と改善点を共有しながら、見直しを図る。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のミーティングや情報交換でその都度伝えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・オンライン等の方が受けやすく、児童発達支援向けの研修を見つけた際には、職員に知らせている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・自分自身のスキルアップ、専門的知識の向上が必要。周りの職員の意見を参考にしながら、計画している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用人数上、個別活動に重きが置かれがちになっている。保育園側の協力も得つつ、小集団での活動を計画していくことも検討する。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日々のスケジュール化が必要。	職員同士の連携を密にしながら、話し合う内容を充実させ、一人ひとりに合った支援を提供できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・対応に困ったことがあった時などにしか、振り返りができていない。	記録に留まらず振り返りを行い、その後の支援につながるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・こどもの個別ファイルにも活動外の様子や保護者との連絡内容について記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・可能な限り児発管と担当者が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・家庭に応じて相談支援事業所や保健所と連絡をとっている。とよた保育園とは常に情報を共有している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後検討し、実施に向けて進める。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明している。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に家族支援(希望懇談)を実施している。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士のつながりができるような機会を今後検討する。
40		こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	・HPやSNS等がないのが現状。	自分たちがしていることを広く発信していけるよう、ツールを整える。また、保護者の方とお子さんの姿を共有できるよう定期的な便りを発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・該当児童なし	該当児童なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		ヒヤリハットの共有に留まらず、話し合いの場をもつようにする。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家		
○保護者評価実施期間	令和7年1月7日		～ 令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年1月7日		～ 令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こども自身や保護者のニーズに合った支援を計画に基づいて提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児に対して、契約時や保育集団内での様子からアセスメントを行い、職員間で検討しながら支援計画の作成にあたっている。</li> <li>・作成した支援計画について、定期的に内容を見直している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルアセスメントの活用を行い、客観的な情報に基づいた支援内容の立案に繋げる。</li> <li>・PCCAサイクルに基づいて支援計画を立て、職員間での振り返りをする時間を設定する。</li> </ul>
2	保護者の悩みに寄り添い、日々、保護者への対応を丁寧に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時等のアセスメント及び面談では、保護者の抱える悩みや利用におけるニーズを細かく把握するように話をしている。</li> <li>・併せて、利用における料金や時間等についても詳細をお伝えするようにしている。</li> <li>・定期的に懇談等を実施し、保護者の子育てに対する悩み等に対して助言等を行い、保護者支援に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者間同士が悩みを共有できる場を作り、保護者同士のつながりを作ることで、保護者の困り感や孤独感を共有し、解消していけるようにする。</li> </ul>
3	同建物内の保育園と連携を図り、インクルージョン推進に向けた療育に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の母集団となるクラスでの様子を観察したり、クラス担任との情報共有を図ったりしている。</li> <li>・当事業所で取り組んだ内容について、保育園と共有し、保育の中でも取り組める内容について情報提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園職員との情報共有をする機会を定期的に設ける。</li> <li>・事業所での支援内容について、保育園等と共有し、相互理解を図りながら、統一した支援が行えるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSや広報誌等を通じた、こどもたちの事業所での様子や事業所からのお知らせ等の発信が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等が未開設。</li> <li>・定期的な広報誌等の作成及び発信ができておらず、不定期の発信になってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にとって身近に関わりやすいSNSの活用を検討し、実践する。</li> <li>・併せて、定期的な広報誌等を作成及び発信し、事業所でのこどもたちの様子を積極的に知らせる。</li> </ul>
2	ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや研修等の情報提供といった、家族の対応力向上を図る働きかけが不足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムに対して、事業所職員が学んでおらず、スキルが不足している。</li> <li>・定期的な広報誌等の作成及び発信ができていないため、研修等の情報提供が為されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所職員が保護者の対応力向上に係る研修等を受講し、知識及びスキルアップを目指す。</li> <li>・家庭内で困り感が生じた際に、家族の対応について事業所職員から助言等を行う場を設定する。</li> </ul>
3	職員間で支援の内容や役割分担について、密に情報共有を図ることが不足しており、チームによる支援の改善が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援と放課後等デイサービスとで主な担当職員が分かれており、全職員で情報共有を図る時間を定期的に設けることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの様子や保護者からの要望等について、定期的にミーティング等を行うことで全職員で共有する。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 11名

回収数 11

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	2	・室内や外でも遊べて確保できています。 ・慣れた環境で過ごせていて、子どもたちが楽しそうです（とよた保育園出身）。 ・室内でも外でも安全に遊べて良い。 ・部屋としては、レイアウトの関係か、少し狭さを感じ、1日の利用人数がわからないのでなんとも言えない。	活動ごとに生活スペースを分けているため、狭く感じることもあるかもしれませんが、子どもたちののびと過ごせるスペースも確保しつつ、定期的に室内の環境を見直します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	1	4	・何人先生がいれば十分なのか？基準がわかりません。 ・もう少し多い方が安心して関わられる。 ・1日の利用人数がわからないのでなんとも言えない。	定員10名に対しては、児童指導員等を2名以上配置するよう定められています。職員同士で連携をとりながら、安心して子どもたちが生活することができるようになります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	2	・分かりやすくなっていると思う。 ・知っている場所だったから我が子は大丈夫だと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	1	・大丈夫です。 ・良好です。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	2	・わが子の特性に対応してくれていると思います。説明を理解して、臨機応変に子どもが理解してくれるようになりました。ありがとうございます。	計画に基づきながら、お子さん一人ひとりの姿に合わせて支援内容を工夫しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	2	・合っていると思います。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	・できています。 ・子どもが理解してグズグズ言うこともなくなりました。子どもの成長を見ていたら個別指導計画うまく作成されています。	保護者の思いに加え、年齢に応じて子ども自身の気持ちも聞き取り、反映しながら支援計画を作成します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	2	・未就学の時に利用していた療育の様に、親子療育等がないので、他の質問もですが、詳細が分かりません。	支援計画について保護者の方に説明させていただいた上で、日々の支援の様子をお伝えできるようにします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	0	3	・頑張っていると思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	1	2	・保育園の園児と交流がある。 ・園児との交流はある。	とよた保育園との交流を行っています。放課後児童クラブや地域との交流を広げていけるように検討します。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	0	0	・面談があり、説明の時間がありました。質問を聞いてくれました。 ・ほとんどについては、説明をして頂けたが、時間外利用の説明については、施設開所前から、こちらからは何度も確認し、回答ももらっていたが、利用する際になって、確認していた内容と違うことで承諾するよう言われたので、丁寧に欠けていたと感じている。また、利用する段階になっての変更となり、現在も困っている。	時間外利用の説明不足・対応の件、申し訳ありませんでした。今後は保護者の方にきちんと説明し、ご理解して利用していただけるよう、より丁寧な対応を心がけます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	5	・なかったと思います。 ・あります。	ご家族への情報発信が不足していること申し訳ありません。お便りによる発信や保護者の方が集まることのできる会の開催など今後検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達等の状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	1	・連絡帳、個人面談。ただ、連絡帳では記入スペースも少ないため、実施内容程度。	連絡帳には書ききれない部分をお迎え時等に保護者の方にお伝えできるように心掛けていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0	・面談でアドバイスをもらいました。	定期的に懇談を実施しました。定期的な懇談だけでなく、お子さんの姿に合わせて、いつでも懇談をさせていただきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	1	・皆で頑張っていると思う。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	1	4	・きょうだいで利用していますが、保育園児と小学生で利用の曜日が違うので、交流はないです。	きょうだい向けのイベントの開催等について、今後検討します。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	2	・いつも質問や困ったことを答えてくれています。 ・迅速かつ適切に動かれます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我や友達とかの事は細かく説明してもらっている。</li> <li>・なんてどうなって怪我したなど説明がありました。</li> <li>・まだ経験がないので…。</li> </ul>	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日はかえでの日と喜んでます。本人より曜日は変えたくないと言う程喜んでます。</li> <li>・行けば楽しくしている。</li> </ul>	子どもたち一人ひとりが事業所で過ごす時間を少しでも楽しく感じられるように、工夫しながら運営していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがイキイキとしている。親としてみても満足します。これからもよろしくお願ひします。</li> <li>・お世話になります。私が迎えに行けなかったり、知ろうとしないのもよくないのですが、活動内容だったり、普段の様子が見えてきません。たまに迎えに行っても先生から特に何も言われず。でも子どもが楽しくいけているので、ありがたく利用させて頂いています。</li> <li>・楽しく、通わせて頂いていて、感謝しています。</li> <li>・小学生になり、学童にも入ることですが、保育園のような延長がなく、不便を感じることはあります。7歳の壁を感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも事業所の運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。保護者の方々に支えられて、日々の支援を行うことができます。</li> <li>・お子さんの様子を十分にお伝えできず申し訳ありません。送迎時等では、職員間で連絡を回りながら、子どもたちの様子を発信していけるように努めます。</li> <li>・近年さまざまな生活課題があり、7歳（小1）の壁もその一つと捉えています。現状に留まらず、地域のニーズを把握しながら、必要とされる事業を検討していきます。</li> </ul>



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家				公表日	令和7年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・部屋が限られているため個別の部屋の確保が難しい。仕切りなどが必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・PDCAのAが不十分。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			評価内容と改善点を保護者と共有しながら、見直しを図る。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	・意見等を十分に聞くことが出来ていないと感じている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・インクルーシブ療育についての記載を今後要検討していく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントはしているが、インフォーマルなアセスメントに偏りがち。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたツールを用いたアセスメントが不十分。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		職員同士の連携を密にしながら、話し合う内容を充実させ、一人ひとりに合った支援を提供できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・必ずはできていない。	記録に留まらず振り返りを行い、その後の支援につながるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動計画記録表に日々の活動内容やこどもの様子について記録している。 ・こどもの個別ファイルにも活動外の様子や保護者との連絡内容について記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・声掛けをする中で選択肢を複数提示したり、こどもの気持ちを引き出せるような問いかけをするように心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・可能な限り児発管と担当者が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・家庭に応じて相談支援事業所や保健所と連絡をとっている。とよた保育園とは常に情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象児童なし	対象児童なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		さまざまな会への出席をとおして、多くの事業所等と顔見知りとなり、日頃から連携が取れるようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後検討し、実施に向けて進める。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家族の意向は十分に取り入れることができているが、今後こどもの意向についても積極的に取り入れていくことが必要だと感じている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に家族支援(希望懇談)を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士のつながりができるような機会を今後検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	・HPやSNS等がないのが現状。	自分たちがしていることを広く発信していけるよう、ツールを整える。また、保護者の方とお子さんの姿を共有できるよう定期的な便りを発信する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		該当児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		ヒヤリハットの共有に留まらず、話し合いの場をもつようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家		
○保護者評価実施期間	令和7年1月7日		令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年1月7日		令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こども自身や保護者のニーズに合った支援を計画に基づいて提供している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児に対して、契約時や保育集団内での様子からアセスメントを行い、職員間で検討しながら支援計画の作成にあたっている。</li> <li>・作成した支援計画について、定期的に内容を見直している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルアセスメントの活用を行い、客観的な情報に基づいた支援内容の立案に繋げる。</li> <li>・PCCAサイクルに基づいて支援計画を立て、職員間での振り返りをする時間を設定する。</li> </ul>
2	保護者の悩みに寄り添い、日々、保護者への対応を丁寧に行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時等のアセスメント及び面談では、保護者の抱える悩みや利用におけるニーズを細かく把握するように話をしている。</li> <li>併せて、利用における料金や時間等についても詳細をお伝えするようにしている。</li> <li>・定期的に懇談等を実施し、保護者の子育てに対する悩み等に対して助言等を行い、保護者支援に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者間同士が悩みを共有できる場を作り、保護者同士のつながりを作ることで、保護者の困り感や孤独感を共有し、解消していけるようにする。</li> </ul>
3	相談支援事業所や学校等、関係機関との連携を図りながら支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所等の各関係機関と定期的に情報共有を行い、支援の方法について一緒に検討している。</li> <li>・送迎時等に学校と話をする時間を設け、学校での様子や事業所での様子について共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等の関係機関での様子を知る機会を定期的に設定することで、より詳細なこどもたちの姿を把握し、情報共有を図る。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSや広報誌等を通じた、こどもたちの事業所での様子や事業所からのお知らせ等の発信が不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等が未開設。</li> <li>・定期的な広報誌等の作成及び発信ができておらず、不定期の発信になってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にとって身近で関わりやすいSNSの活用を検討し、実践する。</li> <li>・併せて、定期的な広報誌等を作成及び発信し、事業所でのこどもたちの様子を積極的に知らせていく。</li> </ul>
2	ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや研修等の情報提供といった、家族の対応力向上を図る働きかけが不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムに対して、事業所職員が学んでおらず、スキルが不足している。</li> <li>・定期的な広報誌等の作成及び発信ができていないため、研修等の情報提供が為されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所職員が保護者の対応力向上に係る研修等を受講し、知識及びスキルアップを目指す。</li> <li>・家庭内で困り感が生じた際に、家族の対応について事業所職員から助言等を行う場を設定する。</li> </ul>
3	職員間で支援の内容や役割分担について、密に情報共有を図ることが不足しており、チームによる支援を行うまでに至っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援と放課後等デイサービスとで主な担当職員が分かれており、全職員で情報共有を図る時間を定期的に設けることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの様子や保護者からの要望等について、定期的にミーティング等を行うことで全職員で共有する。</li> </ul>